



会報●第4号

北陽高等学校

同窓新聞

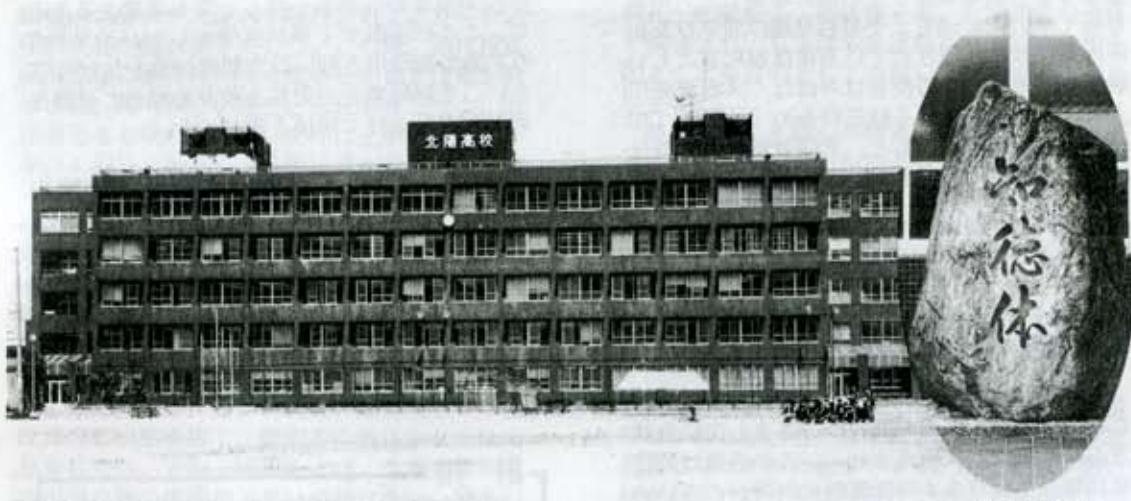
1983. 6. 11 発行

編集発行

会報委員会

委員長

藤井 文太郎

正門横に立つ
進学碑

運動場から見た校舎全景

母校の現況

今年から高校では6年間生徒が急増し、それ以後は反転して急減するというまさしく試練の時期に入ります。本校でも社会的要請に応えるべく1学級増を予定いたしましたが、結果は2,657名の受験者の中から626名が入学し、2学級増となってしまいました。急増期に可能な範囲で収容増に協力することは当然とも思われますが、同時にこれは教育諸条件の低下につながりかねません。そこで私たち教職員が力をあわせて難関を克服する以外に道はないと思ふと覚悟し、教育内容を充実するために努力を重ねております。

今春の卒業生668名のうち大学等に進学した者275名、就職者274名、浪人119名となっておりますが、今後進路について益々厳しさが予想されますので、この面での指導を強化すべく、それぞれに工夫してその実を挙げようと頑張っております。新入生の宿泊研修も今年で3年目ですが、最近とかく問題のある中学生活から、新しい自覚をもって、規律ある高校生活をはじめさせるには有効だと確信しています。ここでも、今年から進路へのガイダンスを行ないました。

環境の整備も徐々に進めております。摂津市の第2グランドも昨夏完成し、野球部と庭球部が毎日使用、そのためこちらの第1グランドの活用にゆとりが生じたことは喜ばしい限りです。今年度は倉庫とクラブ部室の新築、更に体育館内部の改修をいたします。前者は既に完成目前ですし、後者は夏休み中に終える予定です。形の上では、これで上新庄への校舎等の移転が完了したことになるわけで、今後は緑をふやして安らぎのある学園にしたいと思っております。

クラブ活動も相変わらず盛んです。各部とも大阪でベスト8にはいる力を備えてきました。昨年度は陸上、水泳、柔道、アイスホッケー部が全国大会に出場しましたが、今年度は更に他の部も脚光を浴びるだろうと期待されます。

(筆者は母校林敏夫校長)

悲願の同窓名簿遂に発行

戦後初の大事業成る!!

私達の「北陽」光陰矢の如し創立以来今日まで60年の星霜を経てきました。思い起せば大正14年に大阪市大淀区長柄の里に学校が誕生してより変遷幾度、その間に卒業した人の数も漸く2万人に達し、それら私達の同窓校友が各界で立派に活躍されている事は誠に喜ばしい事です。木造円形の校舎は今はなく大阪東淀川上新庄の地に堂々たる鉄筋校舎の「北陽」「知徳体」の教育方針のもと、北陽教育の基本理念にはいささかの不安もなく北陽若人が世論に惑

わす環境に流されず悠然と学びの姿を見る時喜びと嬉しさのものしさ一杯あります。この道を歩みきた卒業生の名簿を発行するにあたり、母校60周年の行事の一環としても意義あることで、ここに出版する事が出来ました。どうかこの名簿の御活用を願い同窓親睦の輪を広げて下さい。北陽同窓会の発展と校友皆様のご健勝をお祈り申し上げて挨拶と致します。

北陽同窓会副会長、名簿発行委員長 阪本隆夫

事務局だより

名簿のお求めは早い目に

長らく遅れて申し訳ありませんでしたが、ここにめでたく名簿の発行ができまして、皆様方と共に御慶祝に絶えません。この名簿は限定発刊致しておりますので部数に制限がございますので、御入用の方は大至急同窓会本部までお申込み下さい。尚厚かましいお願ひですが今からでも御協賛金を受け付けて頂きます。地名変更、住所移転の場合には、本部までご一報下さい。学年、職場、同窓会御開催の際も名簿に不備な点がございましたらご容謝下さいませ。同窓生諸兄のご多幸をお祈り致します。

名簿代金3,500円(送料含む)

早いもので、皆様方に会報をお届けしてから4号になりました。その陰には多数の何百人に及ぶ同窓生諸兄からのおはげましの言葉や、協賛金が集まりました事を、厚く御礼申し上げます。あわせて今回は、増ページを、企画致しましたところ、心よく、なつかしい古い先生方や先輩諸氏から多くの原稿を頂きました事も重ねて深謝致します。この会報「北陽同窓」も今後増え、内容を充実させていきたい所存でございますので、皆様方、宜しく御協力下さいませ。又、御意見御感想がございましたら、どしどし同窓会本部まで御連絡下さいませ。

昭和58年卒業の代議員になられた方は次の15名の方々です。

生田真一、南孝明、川合浩幸、小川勝利、鎌田龍也、内藤康宏、連伸行、高力俊之、高野竜夫

池田誠、渡辺敏勝、奥富利英、半田直也、西川哲夫、才木吉一

計報

- ・同窓会理事 今中悦郎氏（昭和16年卒）（前東淀川区米穀小売商組合長）昭和57年10月19日死亡
- ・同窓会代議員 浅野一夫氏（昭和17年卒）（税理士）昭和57年12月8日死亡
- ・上田忠雄氏（昭和17年卒）（フードセンターウエダ社長）昭和57年7月11日死亡
- ・岡井忠治氏（昭和30年卒）（前高槻市役所管財課長）昭和57年12月1日死亡

昭和57年度理事会代議員会記録

- ・4月27日 第1回理事会開催
名簿並びに代議員会への準備、打合せ
- ・5月21日 第2回理事会開催
57年度事業報告、58年度予算、会則、役員改選等
- ・6月5日 第5回代議員会開催
57年度事業報告、58年度予算、会則、役員改選等
- ・7月14日 第3回理事会開催
名簿発行、その他一般
- ・11月19日 第4回理事会開催
名簿発行、60周年記念計画
- ・12月10日 第5回理事会開催
名簿発行、60周年記念計画

(同) (窓) (情) (報)

川西支部発足

北陽同窓OB諸兄には如何お過しですか。ご健勝の事とお慶び申し上げます。思えば私達の母校「北陽」が大正14年開校されてより早や58年の才月が流れ去りました。この間、初代校長糸島先生の教育に対する燃ゆるが如き情熱が継承され、輝やかしい歴史と伝統を残しつつ、旧校舎ともお別れを告げ、現在は上新庄に新しい学びの殿堂に数多くの後輩諸君が勉学に、スポーツに若き青春の血を燃やしておりますことを心より喜ぶものであります。かかる時、川西市猪名川町も卒業生の数240名を、数えるに至りましたので、先輩諸兄各位と協議の上、昨年11月20日に支部結成をいたしました。支部長に上田重雄氏（3回生）、会計に中野昇平氏（10回生）を選出し、発足いたしました。結成総会には、稲野同窓会々長、林校長、佐藤先生その他役員のご出席を得て、参加者の数は少なくはありませんでしたが、力強く座席を上げ、今後北陽同窓会川西支部の者達が、互いに助け合い、励まし合い、そして北陽卒業生としての誇りを持って更に前進することを誓いました。

北陽高校同窓会理事、川西支部
事務局長 加茂 勉



川西支部結成総会

茨木市役所北陽会

当所「北陽会」は、茨木市役所に勤務する職員のうちから、北陽高校の卒業生が寄り集り、現在一般職32名、消防職6名、合計38名の会員で構成され、もっぱら会員相互の親睦と融和を図ることを目的として活動しております会であります。

茨木市役所北陽会の歴史としては、今から遡ること20余年前の昭和35年頃、当時の同窓生が寄り始め、年を重ねるごとに活発になっていったと先輩諸兄より伝え聞いておりますが、現在の北陽会は、昨年（昭和57年4月）に再編成を行い、会則を確立し、会長のもと、副会長1名幹事3名、会計1名、そして会計監査2名、合計7名の役員で運営されており、定時総会を年1回開催することを義務づけされております。

定時総会とは申しましても、報告、決議事項などが終れば、そこはそれ、気心知れた者同志酒宴はなごやかに始まります。そして思い思ひ話がはずむ中、やはり母校である北陽高校での想い出話が多い様に見受けられます。現在38名中、最古参は、昭和17年卒業者がおり、最近では昭和55年卒業者がおり、なんとその差が38年もの開きがある訳ですが、そんな者同志でも、妙な感じで融け合いながら酒宴は興に入っています。

わが北陽会の目標とするものは、ただ単に母校を同じくする者の集いだけにとどまらずに、明日の職場に、またこれから育ちゆく後輩のために何か役立つ集いにしたいと念願し、努力して行くものであります。

会長 仲川義一(34年卒)
副会長 段野清良(37年卒)
文責 宮本 徹(41年卒)

十陽会(とようかい)の集い



私同期の集い、十陽会の昨年度総会を学友山本君のお骨折りで若葉薰る宝塚の観光旅館“島家”で開催致しました。昨年に統いて恩師八沢先生も御元気なお顔を見せて頂き、その遠くは群馬県より小山君、西脇市より鈴鹿君、姫路より森田君など21名の出席を見、大変楽しい会合となりました。お互いに定年もすぎ還暦も終った事もあり、皆が異口同音に自分の健康のこと、初孫の可愛さなどが話題の中心になりました。然し母校のことになると皆が真剣

に発言され学校創立60周年記念大会や会報発行について色々と有意義な意見もとび出しました尚、出席者は下記の通りでしたが来年度総会も来る6月中旬を予定し、一人でも多くの学友が参集する様、お互いで勧誘する様申し合せました。(牧野雅男記)

出席者 内藤、田川、山本君、森田南、松本、美和、小山、筒井、森田勝、野田、川本、松尾、佐藤幸、山本圭、新井、乃生、鈴鹿、失野、薗田、牧野



第15回生同窓会行事の報告

会則の規定により（2年毎）去る昭和56年7月箕面山荘にて第7回同窓会を開催致しました。当日は来賓として八沢、高月、安富、安田（地理の先生島根県大田市より御出席）の4先生、同窓会本部より阪本副会長、佐藤事務局長をお招きし会員23名出席の下に意義深く進行しました。

只惜しまるのは当日の記念写真より安田先生、上田忠君、浅野君の3名もの物故者が出ていた事は

痛恨の極み謹んで哀悼の意を表します。

昭和17年12月卒業生 123名で物故者は現在34名、消息不明者は0の現況です。恩師の消息ですが、高月先生が病氣療養中です1日も早い全快を祈念致します。

次回同窓会案内

日時 昭和58年7月16日午後6時
場所 大阪市東区北久太郎町5-18
料亭 うを清 電話 06-252-7300
詳細は役員及幹事迄 (浜本辰己記)



北陽双十会(20期生) 35周年記念同窓会開催

双十会は昭和23年（旧制最後）の卒業生の同窓会で今年は卒業35周年に当り4月23日午後5時よりその記念同窓会を東区に有る料亭うを清に於て、開催された。

来賓の稻野OB会長、八沢元校長をはじめ25人が出席した。

卒業以来同窓会としては、過去2回開かれただけなので、35年振りに顔を合す旧友も有り、懐しさも倍加会は始めから熱気に満ちて開始された。稻野OB会長よりは母校近況報告と共に

創立60周年記念事業について抱負と説明がなされた。

又、この会を年1回定期開催する事。所在不明会員の掘り起こしに皆で協力する。親睦ゴルフ会の参加拡大を計る。等の事を決議して、懇親会に移る。

各自がユーモアやPRを含めての自己紹介が行なわれ酔もまわる程に、北陽時代の昔に帰り苦楽も共にした想い出話に時間を忘れた。カラオケによる美声？の競い合いもあり、最後に全員肩を組んで同期の桜を高唱、来年の再会を約して予定時刻をかなりオーバーした9時半すぎ散会した。
(三木 恵三記)

職場探訪

阪急食品工業株式会社 をたずねて

当社は阪急百貨店の傍係会社であり、現在血まなこになって商品の開発をしております。阪急百貨店を中心に海苔、すし、つけもの、椎茸等を製造加工、販売をしております。現在では原料を直接購入する利点を生かし、全国に販売網を持っており、将来有望な会社であります。現在母校を卒業し、この会社に勤務している同窓生仲間は全部で約30人程度います。

ある人は東京の営業、ある人は本社の経理部ある人は海苔、すし、つけもの等の現場作業に従事しています。

次に、2～3の卒業生の雑感を述べさせてもらいます。営業部、中島係長昭和42年卒業、「私が入社した時には、100人程度の小さな会社でした。社会は人間関係が非常に大事であるという事です。苦しい仕事も、がんばり通せば、必

ず成功することができるという信念を私は持ち続けています」総務部、中西主任44年卒業「サラリーマン生活13年を通じ、日経新聞の広告にある「学校を卒業したら勉強しよう」という言葉が一番大事だと通感します」

最後に、経理部藤井主任のメッセージを述べさせて頂きます。

私の所属している経理部では、私が入社後間もなく、コンピューターの新機種導入が決定しそれに伴ない、経理業務のプログラム作成を先輩と2人で担当する事になった。

ところが、先輩が交通事故で長期欠勤という事態が起り、それまで補助的存在でしかなかつた私は試練の場に立たされた。

私は限られた期間内に数多くのプログラムを作成しなければならないという責任感に圧迫されながら、講習会に出席し、あるいは独学でプログラミングにあたった。

その結果、現在完全ではないが経理業務は支障なしに遂行されている。

今振り返えれば、全く知識がないという不安が逆に私を一心不乱に行動させてくれたような気がする。つまり、自分が無知である事を自覚していたがゆえの結果だと思う。

私が入社して無我夢中で過ごした6年間で、この経験が最も印象に残り、また無知の自覚が人間の可能性を生むという自分なりの意見を持ったのも、この経験のおかげである。

ところで、最近の若者は目的意識がはっきりしない事から、よく悪評を耳にするが、これから社会に飛び立つ人にとって、その人生において、何事にも目標を持って責任ある行動をとり内容の濃い結果を得るという事が最も重要ではないだろうか。

社会に向かって大人としての行動をとる事の困難さを、若さをぶつける事で乗り越え、将来においても貴重な存在となるよう努力が必要である。良き社会人となる為の目標に向かって、前述した無知の自覚をもち、一步一步道標を堅実にたどって行けば、きっと自分を導いてくれる人生経験豊富な先輩にめぐり逢える事を私は信じています。
(佐藤記)

☆ ☆ ☆

会報第3号の発行に際し、ご協力いただいた同窓各位のご氏名は次の通りです。ありがとうございました。

会報協力費納付者氏名

荒木恒輔、新井敏雄、浅野一夫、足立英二、畔内貞吉、東本嘉一郎、有福健、朝岡隆、朝倉浩阿部博、浅川浩一、秋田光男、井沢秀二、池友久、出井武彦、磯山春海、井上三二、今村良章池田一夫、犬飼兵一、伊東伸輔、飯田久雄、石井斎、泉谷定治、井田力男、石黒英史、石本勝郎、一色長治、伊関嘉則、伊佐見秀雄、入川猛泉田昭一、井上宗明、浮田嘉彦、宇野博之、姥浦作次、上松智、上田節雄、宇野確、江藏通芳岡本喜一、岡田直三、大松良行、尾崎繁、大川正男、岡田博、桶谷義廣、岡田英治、岡柳二、大島正司、尾田勝三郎、小川賢治、小倉正夫、大城戸康雄、奥野眞一、太田宏、越智哲夫、岡部守隆、奥井寿和、蒲地一嘉、川勝淳志、神田公徳、川上茂、梶彦兵衛、金田一夫、川本雅之川埜健治郎、加藤康宏、神山興三、梶原隆彦、川本富三、河田孝四、神吉武一、木村義夫、北

原靖介、北川徹、北口浩幸、清野徹、北中啓治木村進、木村洋一、北克美、岸田喜興志、久保健治、久我哲夫、久世正次、栗原信二、釣宮義照、小宮茂、近藤芳太郎、後藤俊明、子守安信佐野良晴、佐藤栄一、笹部義幸、阪原弘、齊藤二郎、塙田修三、塙谷半一、白山利雄、渋谷良成、新開裕次、清水勝、城島未明、須川幸雄、鈴木正司、杉本二一、鈴木俊孝、鈴木武司、田中清、高岡伸也、田林軍治、高林晴雄、竹田利雄、萬田武次、高橋憲二、田川栄次郎、田近利隆、高木種夫、田口清一、田中利彦、田中安則谷勇三、高田恭輔、高井敏行、富宝幹之助、秦健、選五平治、津田義雄、津田健三、津田和大寺西実、寺西克美、寺田弥三郎、豊田伊佐吉、土井正男、豊田猛義、鍾本幸治、中山忠城、中島幸雄、中野文吉、中尾弘、中谷亨、中西大介梨木祐昌、中田寅次郎、永井定一、中川茂夫、中村正夫、中塙友之、西口由太郎、西村貞彦、西尾長蔵、仁科壽夫、西田秀吉、荻野義雄、橋本幸弘、林彦一、畠孝男、原田永信、原口正美畠豊治郎、林時也、東尾長治郎、藤井常夫、藤原一郎、藤本時男、福島嘉雄、藤川孝夫、藤木栄次、福本裕之、福山巖、福島頼夫、本田彰、細見政治、錚之原仁、松下孝、丸谷昌、増田直幸、牧野実、松並洋、松尾清、増野一郎、前田省一、蒔田敏夫、松田政夫、松井定雄、松村昭作、松浦静雄、松川鹿三、松本清、又木誠司、宮田誠一、御堂昌典、宮野孝雄、峰順一郎、水利寛文、宮原照男、宮原友三郎、宮西信雄、三輪智久、三浦啓雨、村元正明、向所登貴郎、村田開作、百崎和男、守屋雅年、森保雄、山崎猛山下嘉一、山田清、柳瀬正三郎、山本嘉三、山崎勝己、山本康博、山本敏雄、山岡直博、山村伸三、山本祇男、弓削金次郎、養老美雄、吉田健、吉川尚希、吉川元祥、吉田義治、芳仲重一吉村節雄、渡辺峯男、和田茂、鷲尾興造、和久通正、笹部貞良

複写機のご寄贈に感謝

昭和18年の卒業生で吹田市山手町にお住まいの田中義信（号信石）先生より昭和57年8月7日同窓会本部へシャープ複写機P.P.C.（S.F.-77 R.L 時価50万円）を御寄贈していただきました。田中先生は母校在学中から書道部で活躍され、現在も書道教室を設けておられ一般の人々の指導に当っておられます。会報を借り厚く御礼申し上げます。

（元 吹田市民会館館長
日本教育書道連盟審査員（書道七段））

昭和20年代の思い出

隨筆

同窓会の発展を祝して

三雲 宗敏

いま大阪の私学はどこも立派に運営されているが、昭和20年代にはほとんどの私学が経営難で困っていた。北陽もまた例外ではなかった。私は大学卒業後、南満洲鉄道株式会社に入社、31年に引揚げてきたのだから教育関係はずぶの素人であった。それがいきなり校長になったのだから人一倍苦労があったのも当然であろう。

そこで、いま印象に残っている2、3のものを拾ってみると、一番困ったのは25年9月に受けたジエン台風の被害である。当時は全生徒も300名位で、各学年とも普通科1クラス、商業1クラスを確保するのがせいいっぱいの時代であった。だから大破した校舎の屋根を修理するのは大変であった。もとどおりスレートが屋根に載るまでには2、3年かかったのを覚えている。

次に困ったのは、当時下新庄駅の近くに三千坪ほどの運動場を借りていたが、それを地主が返してくれといってきたことである。地主はもし買ってくれるなら坪500円でよいというのだが、当時150万円ものお金があろうはずがない泣く泣く返したのを覚えている。しかし、もしこの運動場を当時入手していたら、いまの校舎の場所を買っていたかどうか疑問である。そう思うと、当時返したことがかえって福をもたらしたともいえるかもしれない。

次に困った記憶は先生を確保することの困難さであった。とくに英語の先生や商業の先生を得るのは大変であった。だから、私もまた昼は7、8時間、夜は3日間英語や簿記を教えていた。先日古い書類を整理していると、当時貰った免許状がでてきた。24年9月20日付と、25年11月20日付の中学校社会、職業、外國語、高等学校社会、商業、外國語、併せて6つの免許状である。これはこれらの科目的先生が欠けたとき、いつでも私がピンチヒッターをつとめるためであった。いま私は76歳になろうとしている。いまさらこの免許状が役にたつとは思えない。だのに私はこれを大切に持っている。捨てるに忍びないからである。私もやがて死ぬであろう。だが、この免許状だけはその日まで私の手許に残るのではなかろうか。

思えばいろいろの苦労はあったが、いまではどれもこれもがなつかしい記憶である。

(元北陽高校校長、現在大阪青山短期大専務理事)

蒲地 一義

郷土大阪の恵みの母なる淀川の北、即ち北陽の地をトして、環太平洋の舞台に君臨すべき人材の養成を理念として北陽商業学校が、創立されてより半世紀、万乗の卒業生を送り出して今日に至っている。この間、星霜移り、学校も幾多の変遷を経て、現北陽高等学校として名声を高めている。本学の“訓へ”は“知”“徳”“体”的三育であった。最近立派に建て替えられた校舎の玄関にも、この理念は石柱に刻まれて五幼の生命を保つこととなっている。

さて、昭和17年12月に繰上げ卒業となって早や40年も経ってしまったのであるが今でも当時の事など鮮やかに覚えている。最近學術講演のため履々ヨーロッパ諸国に出かけるのであるが十数時間で着いてしまう。北陽の時、英語の時にOSKとNYK（大阪商船と日本郵船）の話があって、マルセユ経由で、ロンドンまで1ヶ月もかかり、その船賃が3,500円と習ったことや、アメリカのハイウェーを“本通り”と訳されて自動車がシカエているなど面白く習ったものである。こんな事をよく憶い出す。当時と異なって今や日本は経済大国であり、技術天国である。空港、ホテル、列車、駅などすべて一流である。どう仕様もないこの狹隘な、しかも無資源の国が世界各国から憚られ、妬まれ恐ろしがられているのである。現在の貿易上の圧力や摩擦など戦前のワシントン条約以前の空気に似たものがあるようにも思われる。

かかる情勢は、かかる力は、やはり日本人の氣骨に基づくもの以外の何物でもない。かかる気骨を養うのが又、日本の教育である。

我等が愛する母校北陽は、野球に、サッカーに華々しい成果を挙げつつあり、既に体育においては一流になったと考えられるが、順わくば勿論、教育においても一流たるべき努力を尽し名実共に一流校として発展する事を期待するものである。高度に科学技術が発達する今後においては、新しい製品の開発は云うまでもなく、販売1つにしても機械、電子、材料、その他の深い知識がなくて叶わぬ事になりつつある。かかる時代に旧態依然とした意識では所詮、ロボットに使われる人間にしか成り得ないのであって、在校生の発奮と健斗を願って止まないのである。幸い同窓名簿が刊行され同窓生の網目も密になる事もあり、大いなる母校の発展を念願して止まない。

(昭和17年卒、大阪大学工学部卒、大阪大学助教授、山口大教授を経て現在近畿大学教授、工学博士)

クラブだより



(57年度吹奏楽コンクール出場
於・大阪府立青少年会館)

吹奏楽部

北陽高等学校吹奏楽部は、校内で唯一本格的に音楽を追求するクラブとして地道な活動を続けています。

現在部員は約30名ですが、毎日のきびしい練習を基礎に、校内外での着実な演奏活動を行なっています。当部にとって年間の大きな取り組みは、2回の定期演奏会（主に摂津市民文化ホール等を使って行なわれています）、吹奏楽コンクールへの出場、アンサンブルコンテストへの出場、また校内での文化祭、体育祭への出演さらには硬式野球部、サッカー部などの全国大会出場の際の応援演奏なども行なってきました。

その中にあって、今年1月に、府立青少年会館で行なわれた関西アンサンブルコンテスト大阪府大会において、金管7重奏で銀賞を獲得したことは、当部にとって一つの段階を画するものとして大きな意義がありました。

そのような吹奏楽部にとっても、大きな悩みの種は、楽器の不足です。毎年のP.T.A.の補助で購入できる楽器には限界があり、部員数が増えても持たせる楽器も十分にないというのが現状です。

しかし、部員一同と顧問手嶋、松岡（克）両先生のご指導のもとに、一体となって困難な条件の中でも元気に活動を続け、今后の飛躍をめざしています。

サッカー部

わがサッカー部は、夏のインターハイに出場すること9回、その中でも48年度第2位、49年度第3位、53年度は優勝、そして冬の選手権には4回出場うち48年初出場で、初優勝、52年第3位と、数多くの栄光に輝き、すばらしいサッカー選手が北陽から生まれました。

硬式野球部

硬式野球部は、これまで春4回、夏4回の甲子園出場という、輝かしい実績をもつクラブです。グラウンドは、摂津市東別府3丁目であり、阪急正雀駅から徒歩で約20分です。奈良部長、松岡監督の厳しい指導のもと、毎日猛練習に励んでいます。

剣道部

わが剣道部は、現在部員数3年生3名、2年生4名という少数のクラブですが、チームワークのとれたクラブで、剣道に対する意気込みはほかの学校にもひけをとりません。過去は全国制覇も成し遂げ、北摂大会でも10度優勝しています。これらの伝統を引き継ぎ、これから北陽高校剣道部を更に充実して行きたいと考えています。

55年度～57年度の就職状況

先輩につづけ

景気の変動と共に就職指導は一喜一憂していましたが、今年度から流れが従来と少し違ってくるように感じられます。（景気変動だけではない）55年度の結果から56年度を展望した時に、当時の多くの就職指針に高校卒者は大阪卒でも優秀な成績をとらないと入社できないような素晴らしい会社に合格することができます。就職か進学かという大事な選択になりますが就職は決して卑下すべきことではありません。大学を出ても結局は就職するのです。とかく大学生が会社訪問が解禁になるのを待ちあわて、会社側の反応が芳しくなく、気をもんでいる人が多いのです。しかし高校の場合は労働者のまとめた数字によると、高卒者の求職者に対する求人倍率は、1.87倍（本校は3.2倍）で前年度の1.68倍を大巾に上まわり、ほぼ100%就職ができたようです。又、楽観は禁物として大学進学率の頭ひとつ就職希望者の増加で高卒者が思うように採用できない企業が、採用計画の一部を短大、大学に向けはじめた。と高卒者には有利な解説と戒めがあり本校の実績も次のとおりでした。56年度の資本金別分類ですが、10億円以上→78名、42%、5億円以上→13名7%、1億円以上→52名28%、1億円以下→31名17%、公社公務員→10名6%、ですので私大やらの大企業合格者が10名といわれていますので、内容も資本金の分類からみれば良い結果と考えられます。

57年度が終了した時点では高卒者の就職は厳しく来年はさらに悪化するであろうと感じました。従来はほとんど合格していた第一段階の就職試験が多く不合格者を出し、第二段階では受験先を捜し出すことが困難な状態になり、高校生の入社試験に学科試験や採用試験が実施され、成績が年々低下している事実、履歴書の志望動機欄の記入内容や面接試験から職業意識のうすさが指摘されるようになりました。その上産業構造の変化から職種が多様化し、OA（オフィス、オートメーションFO（ファクトリ、オートメーション）の普及で業務内容も変化しました。当然それにふさわしい学識を身につけた人物を要求し、人員を削減するようになり、今後も速のくだらうと予測されます。その結果57年度の本校の実績は次のとおりでした。資本金10億円以上→40名18%、5億円以上→14名6%

1億円以上→53名24%、1億円以下→106名48%、公社公務員9名4%でした。全国、他校の比較では内容も充実していますが、本校56年度と比較した時に寂しい結果になりました。今後知・徳・体に一層力をつけてさせて、挽回を計りたいと思っています。

（母校就職指導係、主任 金沢 勇）

55～57年度の大手企業合格者

企業名は下記の通り

ダイハツ工業㈱	日産プリンス大阪販売㈱
自衛隊	トヨタカローラ大阪㈱
トヨタ自動車㈱	トヨタ部品大阪共販㈱
東洋ゴム工業㈱	㈱そごう
大阪合同通㈱	㈱近鉄百貨店
大阪府警	阪急百貨店
日本通運㈱大阪航空支店	阪急共栄物産㈱
本田技研工業㈱	中川無線工業㈱
伊藤ハム栄養食品㈱	敷島製パン㈱
近畿電気工事㈱	阪急食品工業㈱
凸版印刷㈱	トップパンムーア㈱
プラザーミシン販売㈱	トナミ運輸㈱
阪神溶接機械㈱	西部運輸㈱
近畿日本鉄道㈱	近鉄大一トラック
新阪急ホテル㈱	京神倉庫㈱
日本ハム㈱	山九㈱
日本電信電話公社	阪急電鉄㈱
実業信用組合	十三信用金庫
大阪トヨペット㈱	トヨタ車体㈱
トヨタカローラ新大阪㈱	中央自動車工業㈱
㈱重松本店	白木金属工業㈱
住友電気工業㈱	キリンレモンサービス㈱
旭食品㈱	オリエンタル酵母工業㈱
㈱神戸屋	サントリー
読売新聞社	松下電器産業㈱
マツヤデンキ㈱	㈱中山製鋼所
西濃運輸㈱	日本通運㈱
大阪産業信用金庫	ナカバヤシ㈱
豊和信用組合	東缶興業㈱
日産自動車㈱	初級国家公務員

北陽同窓会の会則を再び掲載いたします。同窓会報の配布先が名簿の整備と共に年々拡大して行きますので、新しくご認識いただく方も多いかと思われます。是非ご高覧のうえご意見などお寄せ下さい。

同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 (名称) 本会は北陽同窓会と称する。
- 第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図り母校の発展に寄与すると共に社会公共に貢献することをもって目的とする。
- 第3条 (事業) 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。
- 1.会報及び会員名簿の発行
 - 2.総会の開催
 - 3.母校の発展に寄与する事業
 - 4.その他必要な事項
- 第4条 (本部及び支部) 本会は本部を北陽高等学校同窓会室におく、支部は必要な地域又は職場に設けることができる。
- 本部に事務局を置き本会の事務を処理する。
- ### 第2章 会 員
- 第5条 本会の会員は次の通りとする。
- 1.正会員 (1) 北陽商業学校、北陽工業学校、北陽中学校及び北陽高等学校の卒業生
(2) 上記学校に在学した者で理事会の承認を得た者
 - 2.特別会員、母校の現職員並びに旧職員
 - 3.名誉会員、母校もしくは本会に特別の関係ありと認め理事会で承認を得た者
- ### 第3章 役員及び役員会
- 第6条 1.本会に次の役員を置く
- (1)名誉会長 1名 (母校の現校長)
 - (2)会長 1名
 - (3)副会長 3名以内
 - (4)会計 2名
 - (5)監事 2名
 - (6)事務局長 1名 事務局次長 2名
 - (7)理事 若干名
 - (8)代議員 若干名
 - (9)顧問、相談役若干名
- 2.役員の任期は3年とする。
但し再任を妨げない。
- 第7条 1.会長は代議員会に於いて選出される。
2.その他の役員は会長これを委嘱する。
- 第8条 (任務) 1.会長は会務を総括する。但し緊急必要案件が生じ代議員会を召集するいとまなき時は理事会の議を経て会長これを先決する事ができる。
- 2.副会長は会長を補佐しその代理を務める。
- 3.会計は会の財務を処理する。
- 4.事務局長は本部事務局を組織し、会長の指示を受け、会に関する事務全般を処理する。
- 5.理事会は会務を執行し会の運営上別に内規を定める。

6.代議員会は次の事項を審議する。

(1)事業計画及び予算の承認

(2)事業報告及び決算の承認

7.理事会及び代議員会の議事は出席者の過半数をもって決し可否同数の場合は議長これを決する

8.監事は会計を監査する

第4章 会 計

第9条 本会の経費は会費寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

第10条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日迄とする。

第11条 (会費) 本会の正会員は会費を分担するものとする。

第5章 総 会

第12条 総会は会長これを召集し代議員会をもってこれに代える事ができる。

第6章 支 部

第13条 本会は支部を設ける事ができる。支部長は支部を統括し本部にその会則役員名その他重要事項を報告し連絡を密にしなければならない。

第7章 会則変更

第14条 会則の変更をしようとする時は、会長は理事会の議を経て総会の承認を得るものとする。

第8章 附 則

第15条 その他定めなき事項は会長が理事会に付き、これを決定する。

第16条 本会則は昭和54年9月22日よりこれを施行する。

編 集 後 記

はからずもこの度び突如新聞編集委員に選任されその重責と任務の重大さに痛感いたしております。私は常に人を信じ人を敬い人を愛することを信条としています。これからもそのつもりで参りたいと存じます。今後共足らぬ所の多い私に対し欠けた面を責める前に不足を補って下さることを切にお願いする次第であります。今回心機一転新聞の大きさを改版し多くの方に各種情報連絡等を会報を通じて案内いたします。

皆様方の投稿もお待ちしております。最後に今回の編集及び発刊に際し御尽力の賜わりました藤井副会長、牧野理事、浜本理事並びに事務局長の佐藤先生に対し心より敬意を表すと共に前任者同様ご理解あるご協力ご支援を頼願いたします。

(福島嘉雄)

<p>不動産全般 西田不動産 代表者 西田秀吉 電話 (0720) 58-3590 (S 4年卒)</p>	<p>北陽同窓会会长 稻野治兵衛 (S 10年卒) 電話 (06) 872-3131</p>
<p>コーン巻高速ワインダー製造・金属プレス加工 瀬川金属工業所 代表 瀬川三郎 (S 10年卒) 〒570 大阪府守口市浜町2丁目2 電話 (06) 991-2569 992-5346</p>	<p>兵庫県会議員 加茂 勉 (S 20年卒) 〒666 川西市中央町11-15 電話 (0727) 59-8890</p>
<p>民間車検工場 三菱自動車販売特約店 各種自動車販売修理 株式会社 塩山自動車商会 (淡路電話局前) 専務取締役 塩山信夫 (S 26年卒) 〒533 大阪市東淀川区上新庄2丁目1番7号 電話 (06) 328-2587 • 4134 • 5111</p>	<p>各種自動車販売・整備・钣金・ 塗装・検査受各種ローン取扱 町出俊昭 (S 36年卒) 電話 (06) 328-8529</p>
<p>山崎勝己 (S 18年卒) 電話 (0726) 22-2781</p>	<p>酒本武夫 (S 16年卒) 電話 (06) 388-7010</p>
<p>浜木辰己 (S 17年卒) 電話 (06) 322-0414</p>	<p>川口重夫 (S 25年卒) 電話 (06) 322-4561</p>

<p>清酒・醸造元 高級純日本酒  万両酒造株式会社 社長 藤井文太郎 (旧名信雄) (S14年卒)</p>	<p>旅は仕事の潤滑油 ひとりひとりを大切に旅のことなら 大阪市東淀川区菅原6丁目11番3号 北港ツーリスト 代表者 福島嘉雄 (S26年卒) 電話 (06) 329-1517 329-4416</p>
<p>輸入洋酒専門 株式会社 トサ屋 牧野商店 牧野雅男 (S13年卒) 大阪市南区阪町27番地 電話 (06) 211-6967 (代)</p>	<p>株式会社 うを清 本店料亭・大阪市東区北久太郎町5の18 電話 (06) 252-7300-2番 本町別館・千里中央。千里セルシ。虹の まち。新大阪駅。鴻池駅前。 代表取締役 津田眞治 (S16年卒) 代表取締役 津田健三 (S17年卒)</p>
<p>吹田市会議員 阪本隆夫 (S15年卒) 電話 (06) 381-0276</p>	<p>吹田市会議員 杉本庄七 (S25年卒) 電話 (06) 384-8016</p>
<p>東邦グラビア印刷工業株式会社 社長山下秀夫 (S14年卒) 豊中市今在家町8-6 電話 (06) 863-4100 (代)</p>	<p>塗装工事請負※看板製作一式 見積無料 大阪府知事許可(般-55)第56974号 近畿郵政局・吹田市指定業者 寺田美研 (S42年卒) 吹田市高浜町4番7号 電話 (06) 381-2401 (代)</p>
<p>衣料卸 株式会社 富士商店 本社 茨木市上泉町9-37 社長川本富三 (S13年卒) 直売部(富士サービス) 茨木市別院町3-30 電話 本社 (0726) 24-1621 直売部 (0726) 22-3317</p>	<p>岩本栄一 (S28年卒) 電話 (06) 386-3456</p>